



平成 30 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 **▲▲ 株式会社ミツウロコグループホールディングス**
代 表 者 名 代表取締役社長グループ CEO 田 島 晃 平
(コード番号 8131 東証第 1 部)
問 合 せ 先 コーポレートオペレーションセンター 出 口 和 歌 子
(TEL 03 - 3275 - 6300)

子会社等の組織再編に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 30 年 10 月 1 日を効力発生日として、連結子会社等の再編を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 組織再編の目的

当社主力のエネルギー事業をとりまく経営環境は、人口減少や過疎化、省エネ機器の普及による国内需要停滞の中、電力・ガス自由化等の流れにより、エネルギー事業者間や地域間の垣根がなくなり、新規参入の活発化や事業主体の多様化が進展するなど、構造的な変化が生じております。

今後、エネルギー事業者には、地域の安定供給を担う主体として、有事にも対応可能な強靱性の確保は当然のこと、新事業分野の強化による経営基盤強化や、AI、IoT 等を活用した新たなビジネスモデルの追求など、将来における情勢変化にも対応できる供給インフラの維持と整備を図り、更なる効率化・合理化を進めるため、より機動的・総合的な対応が求められます。

このような状況下、各地域の特性を一段と活かした効率的なエネルギーサプライチェーンを構築し、より機動性・主体性をもった営業戦略の展開と、地域における生活サービス拠点の一体化を主な目的として、各地域の卸売・小売組織を統合することといたしました。

これにより、地域に根差したグループの総合力を活かし、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行い、顧客満足度を高め、より地域に密着した安全で安心なサービスの拡充に努めてまいります。

また、当社連結子会社である株式会社ミツウロコ（以下「ミツウロコ」という。）が行う EC 事業を取り巻く周辺環境については、EC の取引が占める全体シェアは年々上がっており、今後も EC 市場の成長が期待される中、これまで以上にリアル店舗と EC の両立が重要になってきております。

加えて、デジタルマーケティング分野の伸張により、これら広告の出稿先である EC への注目度も高まり、それに比例して、マーケティング分野を中心に新しい EC 関連サービスが誕生し続けております。

今後、EC 事業者には、これらのサービスをいかに早期にキャッチアップし、お客様にとって利便性の高いサービスを追求・提供していくかが求められます。

このため、ミツウロコの「バーチャル」である EC・Web 事業と株式会社トライフォース（以下「ト

ライフオース」という。)の「リアル店舗でのサービスと物販」を行う PM/健康・スポーツ事業を統合させ、双方向のノウハウ連携による集客マーケティング・ビジュアルマーチャンダイジング機能の一段の強化を進めることといたしました。

加えて、印刷事業のより主体的かつ柔軟な経営による発展を目指し、今年度中に印刷事業を独立させることを目的として、ミツウロコの子会社として、「株式会社ライフオース（仮称）」を設立することといたしました。

2. 組織再編の概要

平成 30 年 10 月 1 日(予定)をもって、ミツウロコの関東、東北、中部、関西 の各地域の卸売事業部門及びミツウロコが保有する北海道ミツウロコ株式会社、株式会社山梨ミツウロコ、株式会社ミツウロコエンジニアリング等の株式を、株式会社ミツウロコヴェッセル(以下「ミツウロコヴェッセル」という。)に会社分割により承継させるとともに、ミツウロコヴェッセルが承継した関東、東北、中部、関西 の各地域の卸売事業部門を、株式会社ミツウロコヴェッセル東北(以下「ミツウロコヴェッセル東北」という。)、株式会社ミツウロコヴェッセル中部(以下「ミツウロコヴェッセル中部」という。)及び株式会社ミツウロコヴェッセル関西(以下「ミツウロコヴェッセル関西」という。)に会社分割により承継させ、各地域における卸売・小売組織を一本化いたします。

また、ミツウロコがライフオースを吸収合併します。さらに、ミツウロコの子会社として「株式会社ライフオース（仮称）」を新設し、今年度中に印刷事業部門を「株式会社ライフオース（仮称）」に会社分割により承継する予定です。

なお、これらの組織再編により、当社グループの体制は別紙の通りとなります。

3. 子会社等の会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

各社取締役会又は経営会議	平成 30 年 7 月 17 日
分割契約締結日	平成 30 年 8 月上旬(予定)
株主総会決議日	平成 30 年 9 月頃(予定) ※
効力発生日	平成 30 年 10 月 1 日(予定)

※ミツウロコからミツウロコヴェッセルへの会社分割においては、ミツウロコヴェッセルは会社法第 796 条第 2 項に基づく簡易分割であるため、株主総会を開催せずに行います。

※ミツウロコヴェッセルからミツウロコヴェッセル東北、ミツウロコヴェッセル中部、ミツウロコヴェッセル関西への会社分割においては、ミツウロコヴェッセル東北、ミツウロコヴェッセル中部、ミツウロコヴェッセル関西は、会社法第 796 条第 1 項に基づく略式分割であるため、それぞれ株主総会を開催せずに行います。

(2) 会社分割の方式

- ① ミツウロコの各地域の卸売事業について、ミツウロコを吸収分割会社とし、ミツウロコヴェッセルを吸収分割承継会社とする吸収分割により行います。
- ② ①で承継した各地域の卸売事業について、ミツウロコヴェッセルを吸収分割会社とし、ミツウロコヴェッセル東北、ミツウロコヴェッセル中部、ミツウロコヴェッセル関西を吸収分割承継会社とする吸収分割により行います。

(3) 会社分割に係る割当ての内容

本会社分割による株式その他金銭等の割当てはありません。

(4) 会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本件分割により増減する資本金

本件分割による当事者会社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

ミツウロコヴェッセル、ミツウロコヴェッセル東北、ミツウロコヴェッセル中部、ミツウロコヴェッセル関西は、ミツウロコの関東、東北、中部、関西の各地域における卸売事業に関する権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものをそれぞれ承継します。

(7) 債務履行の見込み

本会社分割において、効力発生日以降の各当事者会社が負担すべき債務について、履行の見込みに問題はないと判断しております。

(8) 会社分割の当事会社の概要

① (2)①の当事会社の概要

	吸収分割会社	承継会社
名称	株式会社ミツウロコ	株式会社ミツウロコヴェッセル
所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号	東京都中央区京橋三丁目1番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田島晃平	代表取締役社長 川上 順
資本金	1000万円	2500万円
大株主及び持株比率	当社100%	当社100%

② (2)②の当事会社の概要

	吸収分割会社	承継会社
名称	株式会社ミツウロコヴェッセル	株式会社ミツウロコヴェッセル東北
所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号	宮城県仙台市青葉区二日町2番27号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 川上 順	代表取締役社長 竹田繁人
資本金	2500万円	1000万円
大株主及び持株比率	当社100%	ミツウロコヴェッセル100%

	承継会社	承継会社
名称	株式会社ミツウロコヴェッセル中部	株式会社ミツウロコヴェッセル関西
所在地	愛知県名古屋市市中川区広川町五丁目1番地	大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岸 秀樹	代表取締役社長 池田貞彦
資本金	1000万円	3140万円
大株主及び持株比率	ミツウロコヴェッセル100%	ミツウロコヴェッセル100%

4. 子会社等の合併の要旨

(1) 合併の日程

各社取締役会又は経営会議	平成30年7月17日
合併契約締結日	平成30年8月上旬(予定)
株主総会決議日	平成30年9月頃(予定) ※
効力発生日	平成30年10月1日(予定)

※ミツウロコは会社法第796条第2項に基づく簡易合併であるため、株主総会を開催せずに行います。

(2) 合併方式

ミツウロコを吸収合併存続会社、トライフォースを吸収合併消滅会社とする吸収合併により行います。

(3) 合併に係る割当ての内容

本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 合併の当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
名 称	株式会社ミツウロコ	株式会社トライフォース
所 在 地	東京都中央区京橋三丁目 1 番 1 号	横浜市西区北幸二丁目 2 番 2 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田島晃平	代表取締役社長 渡邊雅人
資 本 金	1000 万円	1000 万円
大株主及び持株比率	当社 100%	当社 100%

5. 設立する子会社の概要

	新設会社
商 号	株式会社トライフォース（仮）
所 在 地	横浜市西区北幸二丁目 2 番 2 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 剛
資 本 金	100 万円
大株主及び持株比率	ミツウロコ 100%
設 立	平成 30 年 10 月 1 日
決 算 期	3 月末

6. 業績に与える影響

本件は、当社グループ内における組織再編であり、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

この度の組織再編により、当社グループは、さらに各地域における事業の機動性を高めることで事業基盤の一層の強化を図り、グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

以上

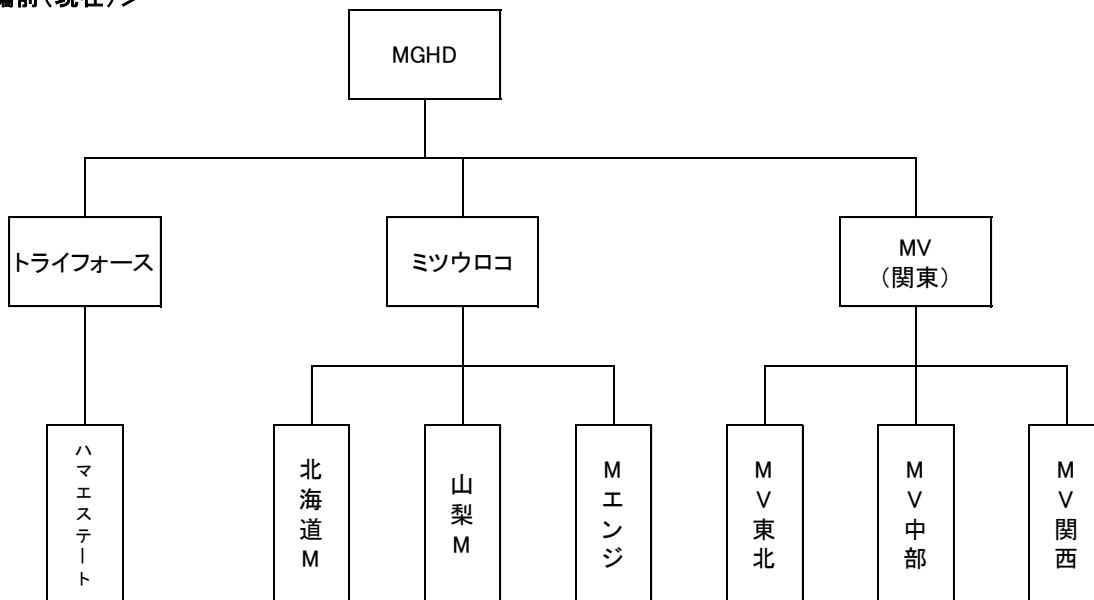
別紙

【組織再編後の体制】

(略称)

株式会社ミツウロコグループホールディングス(MGHD)、株式会社ミツウロコヴェッセル(MV)、
北海道ミツウロコ株式会社(北海道M)、株式会社山梨ミツウロコ(山梨M)、株式会社ミツウロコエンジニアリング(Mエンジ)、
株式会社ミツウロコヴェッセル東北(MV東北)、株式会社ミツウロコヴェッセル中部(MV中部)、
株式会社ミツウロコヴェッセル関西(MV関西)

<再編前(現在)>



<再編後(平成30年10月1日以降)>

